

第 46 回全国障害者技能競技大会

<111> ホームページ 事前公表課題

テーマ：「多様性が輝く職場へ」

～ダイバーシティ & インクルージョン推進 Web サイト制作～

競技の概要

1. 競技課題

競技課題は、次の 2 つからなる。

- ・ ① 事前公表課題（本課題）
- ・ ② 当日課題（競技当日に公開される）

2. 禁止事項

- ・ 競技時間中に他人から指導や助言を受けてはならない。
- ・ 他の選手やスタッフの妨害をしてはならない。
- ・ 競技時間に遅刻、及び競技時間中に許可なく席を離れてはならない。
- ・ 故意に備品や機材等を毀損させてはならない。
- ・ 定められた競技時間・競技エリア以外で課題を実施してはならない。
- ・ 大会主催者が会場に用意した機器以外の機器を使用してはならない。
- ・ 競技中に、材料、用具類の貸し借りを行ってはならない。
- ・ 競技中に、スマートフォン等の通信機器（電卓機能の使用を含む）を使用してはならない。
- ・ ノートやメモ紙の持ち込みは認めない。
- ・ 個人所有の USB メモリー等記憶媒体の持ち込みは認めない。
- ・ その他、大会運営や競技実施に支障を来す恐れがある行為等をしてはならない。

3. 注意事項

- ・ 競技前に、スマートフォン等の通信機器の電源を切り、かばん等にしまうこと。
- ・ 支給された材料の品名及び数量等が競技当日、競技委員から示されたとおりであることを確認すること。
- ・ 競技が終了したら競技委員に申し出ること。

4. 事前課題

(1) 課題の概要

全国アビリンピックには、各都道府県の地方大会を勝ち抜いた代表選手が集います。選手それぞれが障害のある当事者として、実際に地域の職場で働いています。

このたび、ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）の啓発を目的とした Web サイト『多様性が輝く職場へ ～D&I 推進ナビ～』の制作を、とある企業・団体より依頼されました。D&I の基礎知識と、選手自身の職場や地域での実践・取組みを発信するサイトとして構築することを目指します。

* 選手自身の職場や地域での実践・取組みをコンテンツに反映させることで、当事者ならではのリアルな視点を持つサイト制作に取り組んでください。

競技者は要件に従って以下を作成する。

- ・ ① サンプルサイト（4 ページ）
- ・ ② トップページデザイン案（ワイヤフレーム：PC 版・SP 版の 2 画面）

事前課題の作品は競技当日にも使用する。事前課題は、ローカル環境（インターネットに接続されない）で閲覧可能なコンテンツとして用意すること。

(2) 要件

【概要】

『多様性が輝く職場へ ～D&I 推進ナビ～』というタイトルで、D&I の啓発と選手自身の職場・地域の取組みを発信するサイト。

【ホームページの目的】

- ・ D&I の理念と重要性をわかりやすく伝える
- ・ 選手自身の職場・地域における実践事例を紹介する
- ・ 閲覧者が D&I について理解を深め、行動につながるきっかけを提供する

【ホームページの構成】

ページ	主な内容
トップページ	サイト概要・キャッチコピー・お知らせ一覧・各ページへの導線ブロック
D&I を知る	・ D&I とは（見出しのみ。本文はダミーで可） ・ なぜ今 D&I か（見出しのみ。本文はダミーで可）
職場の取組み事例	・ 選手自身の職場または出身地域における障害者雇用・D&I 推進の取組み事例（1 件以上）
お問い合わせ（ダミー）	お問い合わせフォーム（ダミー）

計：4 ページ

「職場の取組み事例」ページには、競技者自身の職場または出身地域における障害者雇用・D&I 推進の取組みを 1 件以上掲載すること。実在の情報を掲載する場合はプライバシーに配慮し、必要に応じてダミー化すること。

「D&I を知る」ページについては、ページタイトル・見出し構成（D&I とは／なぜ今 D&I か）を用意し、本文はダミーテキストで構わない。
デザイン・レイアウトは他ページと統一すること。

(3) 全ページ共通で含めるべき要素

要素	内容	備考
ヘッダー	サイトロゴ／タイトル、グローバルナビ (全ページ分)	ナビはリンク付き
ページタイトル (h1)	各ページの内容が明確にわかるもの	アクセシビリティのため h1 を 1 ページに 1 つ
見出し (h2～h3)	見出しを設ける	セマンティック構造を意識
本文 (段落)	適切な文量・構成・読みやすさを意識	読点・句読点、適度な改行
画像／図表	内容の補足になるものを使用	alt 属性記述必須
フッター	サイト全体の情報、ダミー団体名、問合せ リンクなど	

(4) トップページ必須要素

- ・ サイト概要 (目的説明文・キャッチコピー)
- ・ メインビジュアル (スライダー)
- ・ お知らせ (直近 2～3 件／日付＋概要)
- ・ 各ページへの導線ブロック (アイコン＋概要＋リンク)

(5) トップページのデザイン案 (ワイヤフレーム)

- ・ トップページの PC 版・SP 版それぞれのレイアウト・情報配置がわかるワイヤフレームを作成すること。
- ・ 使用ツール：AdobeXD・Photoshop・Illustrator・PowerPoint・Excel、または A4 用紙への手書き提出でも可。
- ・ ワイヤフレームに記載すべき最低限の情報：レイアウト、ヘッダー・フッター・コンテンツエリアの配置内容 (情報設計)

(6) 使用してよい技術

- ・ HTML、CSS、JavaScript、jQuery
- ・ CSS フレームワーク (例：Bootstrap、Foundation など)
- ・ CMS (WordPress) ※Contact Form 7 (問い合わせフォーム作成プラグイン)

- ・ アクセシビリティ評価ツール：miChecker

■ 生成 AI 活用に関して（事前課題作成） ・ 生成 AI（ChatGPT 等）の活用は可能。
・ 利用部分は本人が十分に理解し、加筆修正すること。 ・ 知的財産権を侵害する内容は禁止。
・ 競技当日はインターネット接続不可のため、生成 AI は使用不可。

（７）使用してはいけない技術

- ・ 使用してよい技術で指定された以外の技術
- ・ 商用プラグイン、テーマ（WordPress 利用の場合）

（８）その他要求仕様

- ・ ソースコードも評価の対象とする。見やすく分かりやすいソースコードになるように配慮すること。
- ・ レスポンシブデザインに対応すること。
 - － スマートフォンレイアウト ：画面幅が 320～767 ピクセル
 - － タブレットレイアウト ：画面幅が 768～1279 ピクセル
 - － デスクトップレイアウト ：画面幅が 1280 ピクセル以上
- ・ CSS アニメーションを 1 箇所以上実装すること（スライダー・ホバーエフェクト・フェードイン等）。
- ・ 文字コード UTF-8 を使用すること。
- ・ 障害のある方の利用に配慮したホームページにすること。ウェブアクセシビリティ対応を図ること。
- ・ 「みんなのアクセシビリティ評価ツール：miChecker」を利用し評価・対策を図ること。
- ・ 作品は、他人の力を借りず、競技者自身が今回の競技のために新たに作成すること。
- ・ 画像、音楽、文章等は、他者の知的財産権を侵害しないこと。
- ・ 自己の職場・地域に関する情報を掲載する際は、プライバシー・守秘義務に配慮し、必要に応じてダミー化すること。
- ・ 素材提供者には、競技中の使用・展示エリアでの使用・大会後の作品紹介等の機会において使用される可能性があることを説明し、使用の許諾をもらうこと。

(9) 提出方法

- ・ CD/DVD 1 枚に保存し競技者の氏名を記入の上、選手下見（オリエンテーション）時に提出すること。なお、提出された CD/DVD は返却しない。
- ・ トップページデザイン案（ワイヤフレーム）：電子データは CD/DVD に格納、A4 用紙記載の場合は用紙を提出。
- ・ CD/DVD には、事前課題で使用していなくともサンプルの HTML/CSS ファイル、スクリプト、利用方法のメモ、その他素材を含めておいても良い。競技当日も参照可能である。

市販品の素材・市販の HTML/CSS/JS サンプル集の含有は認めない。本人が事前に制作したものに限る。CD/DVD の内容は競技前後で競技委員が確認するため、圧縮・暗号化してはならない。

(10) 競技における稼働環境

種別	詳細
OS	Microsoft Windows 11 Pro
ブラウザ	Google Chrome、Firefox、Microsoft Edge
テキストエディタ	TeraPad、SublimeText（フリーソフト）、Visual Studio Code
画像閲覧	XnView（フリーソフト）、Adobe Bridge CC（日本語版）
グラフィック	Adobe Illustrator CC（日本語版）、Adobe Photoshop CC（日本語版）
Web 制作	Adobe Dreamweaver CC（日本語版）
Web アプリ環境	XAMPP
アクセシビリティ評価	miChecker

(11) 会場下見（オリエンテーション）時にすること

- ・ 競技に使用するパソコン、ソフトウェア、パソコンデスク、OA チェア、備え付けの USB メモリ、A4 用紙、電気スタンド等の設置具合や動作を確認する。
- ・ 効率的な作業が可能のように、キーボードや画面、あるいは各ソフトウェアの環境設定を変更する。
- ・ 競技者の障害の程度等により補助具等の導入が必要な場合は、別途「使用機器等調査」において事前に申請すること。

- ・ 事前課題の含まれる CD/DVD は、競技用 PC で閲覧・編集が行えるよう、競技者自身でインストール及び環境設定を行う。

5. 当日課題（参考）

当日課題をイメージするために参考として公表する。

（1）課題の概要

事前課題の作品に含まれる素材を活用し、競技時間内に新たな要件に従いウェブページを追加・編集する。競技当日は JEED より提供される素材パッケージ（写真・テキスト原稿・ロゴ・都道府県別窓口情報・等）を配布する。配布素材を積極的に活用してページを制作すること。

（2）競技時間

4 時間 30 分 ※休憩 1 時間

（3）注意事項

- ・ 与えられたパソコンにインストールされているソフトウェアは、自由に使用して良い。
- ・ 市販の参考図書は原則として 1 冊までの持ち込みを認める。全部または一部を点訳したものでも構わない。
- ・ 事前作品と素材等の入った CD/DVD は競技中に参照できる。
- ・ 競技当日はインターネットに接続できない。

（4）課題例

- ・ 配布素材（写真・テキスト）を活用したバナー・ビジュアルの Photoshop 制作
- ・ ページの追加
- ・ トップページ更新（バナー設置・お知らせ更新・導線追加・CSS アニメーション）など

(5) 全体的な要件

評価軸	内容
基礎力	課題の最低限の仕様を満たし、HTML5/CSS3 標準仕様に準拠している
技術力	課題の仕様を満たす上で、適切な技術を用い活用している
提案力	要件を適切に理解した上で競技課題を制作している
アクセシビリティ	障害の有無に関係なく誰でも利用できるように配慮されている
ユーザビリティ・UX	閲覧者を想定したユーザシナリオ・導線など明確でわかりやすく使いやすい
ライティング	わかりやすいタイトル・文章など閲覧者に伝わる文章構成